

令和4年第3回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和4年8月25日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応について報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、県全体の新規感染者数の増加により、病床使用率が35%を超えている状況にあること等を踏まえ、7月21日から感染段階が「レベル2－Ⅱ」に引き上げられ、県下全域に特別警戒警報が発令されました。

雲仙市におきましても、7月以降、新規感染者数が増加傾向で推移しており、8月19日には過去最多となる172名の感染者が確認されるなど、これまでにない感染状況となっております。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、本市の全人口に対する接種者の割合は、8月21日時点で、1回目が82.0%、2回目が81.5%、3回目が66.6%となっております。

4回目の追加接種につきましては、60歳以上の方や18歳から59歳までの方で基礎疾患を有し、接種を希望される

方を対象に実施しておりましたが、7月22日、国が感染の急拡大を踏まえ、接種対象者を医療従事者や高齢者施設等の従事者に広げたことを受け、本市においても、接種対象者のうち接種を希望される方に対して、7月22日から順次接種券を発送し、予約の受付を行っております。

また、市独自の取り組みとして、3回目未接種者の12歳から39歳までの若い世代を対象に勧奨通知を発送するとともに、昼間に仕事等の理由で接種できない方のために、夜間の集団接種を実施しております。

引き続き、休日・夜間の接種など医師会や関係機関等と連携を図りながら、接種を希望される市民の皆様が安心して円滑に接種を行えるよう取り組んでまいります。

続きまして、市民の皆様の活躍につきまして、報告させていただきます。

【長崎県消防ポンプ操法大会について】

8月7日、「第37回長崎県消防ポンプ操法大会」に雲仙市代表として小浜支団、南串山支団が出場され、小型ポンプ

の部で南串山支団が準優勝、ポンプ車の部で小浜支団が第3位という素晴らしい成績を収められました。

【長崎県中学校総合体育大会について】

7月23日から25日にかけて、「長崎県中学校総合体育大会」が県内各地で行われ、雲仙市の中学校から11競技に出場し、陸上競技で4名、バドミントン競技で1名が、また、卓球競技で小浜中学校女子、ソフトテニス競技で国見中学校女子、バレーボール競技で南串中学校男子が九州大会への出場を果たされました。

なお、陸上競技共通女子砲丸投げで、全国大会参加標準記録を突破された国見中学校3年の中村柚葉さんは、8月18日から21日にかけて開催された「全日本中学校陸上競技選手権大会」に出場されました。

【小浜中学校吹奏楽部九州大会出場について】

8月20日、「第67回九州吹奏楽コンクール」中学生の部において、長崎県代表として出場した小浜中学校吹奏楽部の皆さんが、銀賞を受賞されました。

【ピティナ・ピアノコンペティションについて】

7月26日から28日にかけて開催された「第46回ピティナ・ピアノコンペティション九州本選」において、多比良小学校4年の織田彩椰さんが第2位に入賞され、8月19日から20日にかけて開催された全国大会に出場されました。

【スポーツにおける市民の活躍について】

8月19日、ブルガリアで行われたU20レスリング世界選手権女子65キロ級において、国見町出身で日本体育大学3年の吉武まひろさんが、優勝という素晴らしい成績を収められました。

また、7月5日には、バーレーンで行われたU20レスリングアジア選手権男子87キロ級において、国見町出身で関西大学1年の稲本喬弘さんが5位入賞を果たされました。

【雲仙市中学校弁論大会について】

7月22日、「第72回社会を明るくする運動 第15回雲仙市中中学生弁論大会」において、各中学校の代表7名が発

表し、最優秀賞に選ばれた南串中学校2年の増田陽真梨さんが、8月1日に開催された県大会に出場され、優秀賞を受賞されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

移住・定住の情報発信・受入体制の強化につきましては、7月16日、小浜町刈水地区における「地域×デザイン」の実践等をテーマとしたトークイベント「刈水デザインキャンプ」が刈水町作り委員会の主催により開催されました。

本イベントに参加された多くの方々に雲仙市の魅力を感じていただけたものと思っており、主催者の皆様をはじめ関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

地域防災体制の強化につきましては、令和3年8月豪雨による雲仙小地獄地区の土砂災害から1年を迎えるにあたり、8月12日から15日にかけて、災害発生現場前に献花台を設置いたしました。

また、8月13日には市関係者による献花を実施し、亡くなられた3名の方々へ哀悼の意を表するとともに、今後、同じような悲しい出来事が起こらぬよう、防災・減災の取り組みの強化を図り、市民の皆様の安全確保に努めていくことをお誓いいたしました。

8月17日、長崎県土地家屋調査士会様と「大規模災害発生時に係る復興支援に関する協定」を締結いたしました。

本協定は、雲仙市において地震や風水害等の大規模災害が発生した際、家屋の被害認定調査等について専門的な支援をいただくものであり、被災者の早期の生活再建に寄与するものと期待しております。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

担い手の確保・育成と経営支援につきましては、7月28日、デジタル技術を活用した農作業の省力化や収益向上を目的とした「雲仙市スマート農業研修会」を開催いたしました。

魅力的な観光商品の造成につきましては、８月１日、雲仙市地域おこし協力隊のミヤマキリシマ調査員として山本哲也さんが着任いたしました。

隊員となられた山本さんには、貴重な観光資源であるミヤマキリシマの保全や利活用に取り組んでいただき、本市の魅力の向上が図られることを期待しております。

【基本方針３「社会基盤と環境」の分野について】

水道施設の適正な維持管理につきましては、７月２８日、雲仙市水道料金及び下水道使用料審議会から「水道料金の改定について」の答申をいただきました。

審議会委員の皆様には、水道料金の在り方についてご審議を重ねていただき、答申書としてとりまとめていただきましたことに深く感謝申し上げます。

ごみ・し尿処理体制の充実につきましては、８月２日、長崎県環境保全協会様並びに長崎県環境整備事業協同組合様と「災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」を締結いたしました。

本協定の締結により、両団体との連携・協力を図ることで、災害時における迅速な廃棄物の処理に繋がるものと期待し

ております。

【基本方針４「人財と郷土」の分野について】

スポーツ大会・教室の充実と参加促進につきましては、
7月23日、雲仙市小浜体育館の落成を記念して、プロバレーボールチームの東レアローズとフォレストリーヴズ熊本による市内小中学生を対象としたバレーボールクリニック及び両チームによるエキシビションマッチを実施いたしました。

7月24日、「市民ラジオ体操会」を市内7ヶ所で開催し、
483人の市民の皆様にご参加いただきました。

8月20日から22日にかけて、プロバスケットボールチームの長崎ヴェルカによる合宿が、雲仙市小浜体育館において行われ、8月20日には同チームによる市内小中学生を対象としたバスケットボールクリニックが実施されました。

【基本方針５「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、地域の活性化を目的として、7月31日に「#MINIFES in Chijiwa」、8月11日に「第13回南串山ふるさと夏まつり」、

そして、8月15日に「みずほ夏まつり」が開催されました。

実行委員会の皆様をはじめ、関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

市民参画と行政運営につきましては、7月12日、大塚製薬株式会社様と包括連携協定を締結いたしました。

今後、本協定に基づき、防災やスポーツ、健康等の分野において幅広い支援をいただくことにより、地域の活性化及び市民サービスの向上に繋がるものと期待しております。

また、7月21日から22日にかけて、株式会社メルカリ様及び株式会社ソウゾウ様との連携協定に基づき、市民や事業者の方々を対象として、不要品の販売方法やオンラインショップの開設方法を学ぶセミナーを開催いたしました。

今回のセミナーにより、本市における循環型社会の推進及び地域経済の活性化に繋がるものと考えております。

きめ細かな情報発信と広聴機会の充実につきましては、「被爆77周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」の「平和への誓い」代表者で小浜町在住の宮田隆さん、前高校生平和大使で吾妻町在住の羽山嵩裕さん、現大使で吾妻町在住の田原夏海さんへのインタビューを広報紙8月号に掲載し、平和の尊さを市民の皆様にお伝えいたしました。

公的資産の有効活用につきましては、7月26日、公益社団法人長崎県公共嘱託登記土地家屋調査士協会様より、雲仙市小浜体育館の建物表題登記の成果品をご寄贈いただきました。

今回のご厚意により、雲仙市小浜体育館が地域のシンボルとして登記されたものであり、心からお礼申し上げます。

「長崎県への施策に関する要望・提案書」につきましては、7月20日、市議会から松尾議長をはじめ、議員の皆様とともに、生活基盤の整備、安心・安全なまちづくり、産業の振興等に関する施策など11項目をまとめ、大石知事及び長崎県議会へ提出いたしました。